

会 議 録		令和3年8月3日作成	令和7年3月末日廃棄
会議名	京都府宮津警察署協議会（令和3年度第1回）		
開催日	令和3年6月25日（金曜日）		
時 間	午後2時から午後3時30分までの間（90分）		
場 所	宮津警察署2階A会議室		
出席者	山下会長、川崎副会長、今井委員、一井委員、日高委員、青木委員 細見委員、矢野委員、松田委員 計9人		
	署長、副署長、警務課長、生活安全課長、交通課長、広聴・相談係長 （会計課長、地域課長、刑事課長、警備課長は挨拶のみ） 計10人		
諮 問 事 項	コロナ禍における宮津警察署の広報活動について		
会 議 内 容	<p>1 会長挨拶</p> <p>2 各委員自己紹介</p> <p>3 署長挨拶</p> <p>4 署員自己紹介</p> <p>5 協議</p> <p>諮問事項説明 司会 会長</p> <p>「コロナ禍における宮津警察署の広報活動について」署長が説明</p> <p>【委員】公民館に交番速報を貼れば地域住民の目にとまり、見てもらえると思うので、協力したい。</p> <p>【委員】広報の在り方については中々、大変だと思う。与謝野町にはケーブルTVがあり、色々な年代の方にも行き届いているのではないか。</p> <p>宮津市にはそういったものはない。特殊詐欺の発生状況や犯罪手口等の情報に関して、独居の高齢者の方に行き届いているのかと疑問に思う。高齢者には手に取って情報を確認できるミニ広報紙のような紙面がよい。回覧よりも各戸配布や、ヘルパーが訪問介護する際に防犯情報について声掛けをするといった相互連携が大事だと思う。</p> <p>与謝野町では、60代の方が特殊詐欺の犯人からの電話の話を信じてしまう状況があったことから、犯罪の手口を知り、日頃から注意しな</p>		

ければならないと思う。

【委員】以前、特殊詐欺の電話がかかってきたことがあり、その手口を知らなかったら騙されていたと思う。そんなうまい口調の電話がかかってきたら若い人でも騙されかねないと思う。

【委員】高齢運転者に対する安全運転の広報のために私どもの店舗でも安全運転を支援してくれる安全運転サポート車、通称サポカーの普及啓発のチラシがあれば、その備え付けに協力していきたい。

【警察】必要な際には、依頼させていただく。

【委員】宮津武田病院近くの一時停止の道路標識がある場所で、停止しない車両をよく見掛ける。その場所は通学路になっており、中学生が運転する自転車も止まらないことがある。危険なので取締りをしてほしい。

【警察】市街地の細街路では、出会い頭による交通事故の発生が多い。これまでも指導取締りを実施しているが、今後も対応を検討していく。

【委員】以前、岩滝口駅近くの交差点で出会い頭の交通事故が多発した。その後、道路に目立つ表示（止まれ文字表示の強調表示）がなされてから、交通事故が減った。あれは効果があると思う。

【警察】交通事故の発生状況について分析した上で安全対策が必要な道路については、改善に向けて道路管理者等と協議検討している。特に、道路形状の変更については、大掛かりな予算が必要で、時間も掛かることから、道路表示の変更や標識の追加等、まず、できることから行っているところである。今後も交通事故の多発エリア等における安全対策のご意見があれば、道路表示の改良等の協議を進めていきたい。

【委員】可搬式のオービスは運用されているのか。

【警察】台数に制限があるので、他署と調整しながら運用している。可搬式オービス（可搬式速度違反自動監視装置）は、通学路や細街路などでの速度抑制効果が期待できるので有効に運用していきたい。

## 6 事務連絡

第2回の警察署協議会の諮問事項は、今後、会長以下各委員の意見、要望を踏まえて決定したい。第2回協議会は、本年9月中を予定している。

以上

会 議  
内 容

## 第1回京都府宮津警察署協議会の開催状況

